

かみいち総合病院 助産師ラダー 実践例

2024年2月1日

レベル	レベル新人	レベル3
レベルの定義	指示・手順・ガイドに従い、安全確実に助産ケアができる 指示・手順・ガイドに従い、ウィメンズヘルスケアができる 地域の母子のケア並びに女性の生涯にかかわる健康相談や教育活動に参加できる	健康生活支援の拠出のための知識・技術・態度を身につけ、安全確実に助産ケアができる 助産師外へついてその業務内容を理解できる ハイリスク事例についての病態と対応が理解できる 支援を受けながら、基礎的な知識・技術・態度を身につけ、ウィメンズヘルスケアができる 地域ニーズの把握、地域資源の活用、他職種連携・協働の必要性が理解できる
能力毎の目標	ケアリングの意味・主要な概念や理論が理解できる	ケアリングの意味・主要な概念や理論が理解できる
ケアリングの定義	ケアリングの重要性を理解し、主要な概念をもとに行動できる	ケアリングの重要性を理解し、主要な概念をもとに行動できる
実践例	1. ケアリングの定義と5つのカテゴリを理解し、関与することができる 1)「医療機関における助産ケアの質評価:第2版」(日本看護協会)ケアリングの項目にて確認する	1. ケアリングの定義と5つのカテゴリを理解し、関与することができる 1)「医療機関における助産ケアの質評価:第2版」(日本看護協会)ケアリングの項目にて確認する
能力毎の目標	支援を受けながら妊婦とその家族が心身共に安定・快適な生活が送れるよう妊婦期の情報を理解できる	妊婦とその家族が心身共に安定・快適な生活が送れるよう妊婦期の情報を理解できる
行動目標	支援を受けながら、妊婦とその家族が心身共に安定・快適な生活が送れるよう妊婦期の情報を理解できる	妊婦とその家族が心身共に安定・快適な生活が送れるよう妊婦期の情報を理解できる
実践例	1) 支援を受けながら、妊婦の健康生活行動診断・経過診断に必要な情報を理解できる 2) 支援を受けながら、ケアの受け手に必要な身体的・精神的・社会的・スピリチュアルな側面から情報を収集することができる 3) 看護記録委員会の提出書類(受け持ち患者1事例:アセスメントシート、パターン要約、看護計画、看護要約、形式の監査・妊婦健康相談)で確認する 4) 支援を受けながら、ハイリスクの要因について理解し、関連する情報を明らかにすることができる 5) 支援を受けながら、健康診査を行い、得られた情報をもとに、ケアの受け手の全体像としての課題をたえらえることができる 1) 定められたフォームに従い、情報収集を行う 2) 支援を受けながら、不足している情報がわかり、必要な追加情報を収集できる	1. 妊婦期の健康生活行動診断・経過診断に必要な情報を理解できる 1) ケアの受け手に必要な身体的・精神的・社会的・スピリチュアルな側面から情報を収集することができる 2) ハイリスクの要因について理解し、関連する情報を明らかにすることができる 3) 看護記録委員会の提出書類(合併症を有する妊婦受け持ち患者1事例:アセスメントシート、パターン要約、看護要約、形式の監査・妊婦健康相談)で確認する 2. 妊婦とその家族に対する課題・ケア方針が理解できる 1) 定められたフォームに従い、情報収集を行う 2) 不足している情報がわかり、必要な追加情報を収集できる
行動目標	支援を受けながら、収集した健康生活行動診断・経過診断の情報を分析できる	収集した健康生活行動診断・経過診断の情報を分析できる
実践例	妊婦期の代表的疾患、マイナートラブルについて理解できる 1. 支援を受けながら、得られた情報から健康生活行動診断・経過診断の分析ができる 1) 支援を受けながら、妊婦期の薬や栄養について理解することができる 1) 妊婦期に注意すべき薬剤について理解できる 2) 妊婦期に必要な栄養について理解できる	ハイリスクの要因について理解できる 1. 得られた情報から健康生活行動診断・経過診断の分析ができる 2. 必要に応じて支援を受けながら、妊婦・胎児の状態に合わせた体系的な観察ができる。観察する意味と関連項目を理解し、正常から逸脱する場合や異常値(データなど)の出現時に、助産を受けながら対応できる 3. 2に基づき母体および胎児の異常への対応と援助が理解できる 1) 日本助産師評価機構オンデマンド研修「妊産婦のフィジカルアセスメント:脳神経」受講する 2) 日本助産師評価機構オンデマンド研修「妊産婦のフィジカルアセスメント:呼吸/循環」受講する
行動目標	支援を受けながら、健康生活行動診断・経過診断によって適切に診断できる	必要に応じて支援を受けながら、健康生活行動診断・経過診断によって適切に診断できる
実践例	1. 支援を受けながら、妊婦とその家族が心身共に安定・快適な生活が送れるよう妊婦期の健康診断を行うことができる 1) 支援を受けながら、健康生活行動診断・経過診断によって適切に診断できる 2. 支援を受けながら、妊婦・胎児の状態に合わせた体系的な観察ができる。観察する意味と関連項目を理解し、正常から逸脱する場合や異常値(データなど)の出現時に、助産を受けながら対応できる 1) 支援を受けながら、現在および今後の妊産経過に関する異常を発見または予測できる	1. 妊婦とその家族が心身共に安定・快適な生活が送れるよう妊婦期の健康診断を行うことができる 2. 必要に応じて支援を受けながら、妊婦・胎児の状態に合わせた体系的な観察ができる。観察する意味と関連項目を理解し、正常から逸脱する場合や異常値(データなど)の出現時に、助産を受けながら対応できる 1)「医療機関における助産ケアの質評価:第2版」(日本看護協会)妊婦期の診断とケア101~103の項目にて確認する看護記録委員会の提出書類で確認する
行動目標	支援を受けながら、妊婦の状態・問題リスト、目標に一貫性がある計画が立てられる	妊婦の状態・問題リスト、目標に一貫性がある計画が立てられる
実践例	1. 助産ケア基本・標準助産計画を活用し、妊産経過に沿った計画が立案できる 1)「医療機関における助産ケアの質評価:第2版」(日本看護協会)妊婦期の診断とケア106.110の項目および記録委員会提出書類にて確認する 2. 支援を受けながら、妊婦のニーズ、バースプランを理解できる 1)日本助産師評価機構オンデマンド研修「意思決定支援」受講する	1. 助産ケア基本・標準助産計画を活用し、妊産経過に沿った個別性のある計画が立案できる 1) 妊婦のニーズ、バースプランに沿って目標を設定できる 2) 支援を受けながら、妊婦および家族参加型の助産計画を立案できる 2) 支援を受けながら、合併症を有する妊婦に対して助産計画を立案できる 1)「医療機関における助産ケアの質評価:第2版」(日本看護協会)妊婦期の診断とケア106.110の項目および記録委員会提出書類にて確認する
行動目標	支援を受けながら、受け持ち妊婦の助産計画に沿ってケアができる	支援を受けながら、基本的助産技術が実施できる
実践例	1. 支援を受けながら、助産ケア基本・手順に沿って正しくかつ安全に実施できる 1) 助産ケアを行う前に説明ができる 2) 治療および診断に必要な観察を行い、適切に報告できる 3. 妊産婦・新生児における緊急時の対応を理解している 2) 緊急時に人を集めることができる 3) 日本助産師評価機構オンデマンド研修「災害時対応」受講する	1)「医療機関における助産ケアの質評価:第2版」(日本看護協会)妊婦期の診断とケア107の項目および記録委員会提出書類にて確認する 2) 助産ケア基本・手順に沿って正しい用語・適切な表現で記録できる 3) 妊産婦・新生児における緊急時の対応が理解できる 1) 母体救命講習会・新生児蘇生法および小児救命講習会に参加し、緊急時の対応を理解する 2) 助産ケア基本・標準助産計画に沿って正しくかつ安全に実施できる 3) 緊急時に必要な物品を知り、手順に沿って整備できる 4) 日本助産師評価機構オンデマンド研修「災害時対応」受講する
行動目標	支援を受けながら、提供した助産ケアの結果を正しく報告できる	支援を受けながら、根拠に基づき自分の行った助産ケアを評価できる
実践例	1. ケアを振り返る姿勢を持つことができ、ケアを評価するために妊婦や家族が示す反応を捉えることができる 1)「医療機関における助産ケアの質評価:第2版」(日本看護協会)妊婦期の診断とケア108.109の項目および記録委員会提出書類にて確認する 2) 助産ケアにおいてわからないことが言える(相談できる) 3) 実施した結果を正しく記録できる	1. 継続する問題について計画を修正できる 2. 助産ケアを要約して記録できる 1) 看護記録委員会の提出書類で確認する
行動目標	継続教育プログラムの意義を理解できる	継続教育プログラムに自主的に参加できる
実践例	1. 自己のレベルに合った院内外の研修や勉強会に参加する 1) 富山県看護協会・富山県助産師会・日本助産師会・日本母性衛生学会等の研修会に参加する	1. 自己のレベルに合った院内外の研修や勉強会に積極的に参加できる 2. 教育・指導について基本的事項を理解できる 1) 支援を受けながら、妊産婦を対象とした保健指導が実施できる
行動目標	職業人として自覚をもち、倫理に基づいて行動できる	職業人として自覚をもち、倫理に基づいて行動できる
実践例	1. 看護者の倫理観が理解できる 1) 倫理セミナーに参加および日本助産師評価機構のオンデマンド研修を受講する 2) 医療倫理コンサルテーションチーム主催の「いのちの教室」を見学する 3) 助産師が行う性教育を見学する	1. ICM, ICN, 日本看護協会・看護者の倫理観について、日常的助産ケアに関連付けて理解できる 1) 倫理セミナーに参加および日本助産師評価機構のオンデマンド研修を受講する 2) 医療倫理コンサルテーションチーム主催の「いのちの教室」に参加する 3) 助産師が行う性教育に参加する
能力毎の目標	生涯を通じた女性の健康支援について学ぶことができる	生涯を通じた女性の健康支援について理解することができる
行動目標	女性の成長に伴う身体・精神と社会的機能状況について学習できる	女性の成長に伴う身体・精神と社会的機能状況について、共感的な態度をもち対象への理解を示すことができる 女性のライフサイクル特有の問題の管理に向けた健康教育を理解できる
実践例	1. 女性のライフステージ(思春期・成熟期・中高年期・老年期)と身体の変化について学習する 1) 産婦人科医による講義を受講し、レポート提出にて確認する 2) ウィメンズヘルスマテリアルについて学習できる 1) 日本助産師評価機構オンデマンド研修を受講する	1. 女性のライフサイクル特有の問題の管理に向けた健康教育を理解できる 1) 富山県看護協会「フレクション」受講する 2) 産後ケアWGチームが行う女性に対する健康講座を見学する 2. 女性特有の健康を有する女性の支援に必要な医学的知識や女性の身体、精神と社会的機能状況のアセスメント、支援方法について理解できる 1) 学研＝ラーニング 院内全体研修「AYA世代における思春期のがん患者へのACP実践から学ぶ」受講する
行動目標	妊娠、出産、育児に関する女性の性周期、身体、精神と社会的機能や役割の変化に伴うメンタルヘルスについて学習する	産前・産後のメンタルヘルスケア支援に必要な知識やアセスメント、支援方法について理解することができる
実践例	1. 学研＝ラーニング「妊産婦のメンタルヘルス」産前産後まで切れ目ないケアをつなげる」視聴し学習する 2. 産後ケアWGチームの事例発表に参加する 3. 新生児訪問、産婦人科外来で行われる妊婦健診、産後の健診、新生児訪問、産後ケア(タイプ、アウリータイプ)を見学する 4. 産後のマナートラブルについて学習する 5. 看護ケア/リラクゼーションについて学習する	1. 日本助産師評価機構「メンタルヘルス」受講する 2. 産後ケアWGチームの事例発表に参加する 3. 新生児訪問、産後ケア(タイプ、アウリータイプ)を指導を受けながら実施する 4. 産前・産後の支援に係る健康教育を理解できる 1) 指導を受けながら、産後のマナートラブルについての指導案を作成する 2) 指導を受けながら、看護ケア/リラクゼーションについての指導案を作成する
行動目標	母乳育児支援について学習する	母乳育児支援に係る健康教育を理解できる
実践例	1. 母乳育児支援、乳との愛着形成と親役割獲得について学習する 1) 日本助産師評価機構オンデマンド研修「授乳支援」を受講する 2. 母乳育児の支援方法について学習する 1) 母乳外来、新生児訪問を見学し、レポートを提出して確認する 2) 富山県母乳育児推進協議会等、富山県で開催する母乳に関する研修会に参加する 3) 授乳期の薬と薬について学習する	1. 母乳に関する院外研修を受講する 1) 富山県母乳育児推進協議会等、富山県で開催する母乳に関する研修会に参加する(富山県内の支援について学ぶ) 2. 母乳育児支援に係る健康教育を理解できる 1) 支援を受けながら母乳育児の薬と薬について指導案を作成する
行動目標	新生児から乳児までの発育・発達の変化について学習できる	新生児から乳児までの発育・発達の変化について理解できる
実践例	1. 新生児・乳児のフィジカルアセスメントを学習する 2. 離乳食について学習する	1. 乳幼児の正常な発達および発達支援について理解できる 2. 離乳食について理解できる
行動目標	妊娠から子育て期において特に支援を要する母親とその家族について学習できる	妊娠から子育て期において特に支援を要する母親とその家族の支援に必要な知識やアセスメント、支援方法について理解できる
実践例	1. 社会的ハイリスク妊婦(特定妊婦を含む)の家庭・生活基盤・身体的・心理的社会的機能、について学習する 1) 保健師による講義を受講する 2. 学研＝ラーニング 院内全体研修「児童虐待における病院の役割」を受講する	1. 富山県看護協会「虐待とネグレクト」を受講する 2. 富山県看護協会「地域における子育て支援」を受講する
行動目標	性感染症・子宮頸がんワクチンについて学習できる	性感染症に罹患している女性とパートナーの身体的、精神と社会的機能状況のアセスメント、支援方法について理解できる
実践例	1. 性感染症の病態、症状、検査・診断・治療、予防について知り、妊娠・出産への影響について学習する 2. 子宮頸がんの病態・ワクチン等について学習する 1) 産婦人科医による講義を受講する	1. 性感染症の病態、症状、検査・診断・治療、予防について知り、妊娠・出産への影響について理解する 2. 子宮頸がんの病態・ワクチン等について理解する 3. 健診の必要性を理解する
行動目標	女性に対する暴力(ハラスメント)について学習できる	不妊・不育の悩みをもつ女性とパートナーの支援に必要な身体的、精神と社会的機能状況について理解できる
実践例	1. 日本助産師評価機構推進協議会「女性に対する暴力予防の支援」を受講、またはハラスメントに関する研修に参加する 1) アンケート提出にて確認する	1. 日本助産師評価機構オンデマンド研修「不妊・不育の悩みを持つ女性」を受講する
行動目標	月経異常や月経障害等を有する女性の身体、精神と社会的機能状況のアセスメント、支援方法について理解できる	月経異常や月経障害等を有する女性の身体、精神と社会的機能状況のアセスメント、支援方法について理解できる
実践例	1. 産婦人科医より、月経異常、月経障害についての講義を受講する	1. 産婦人科医より、月経異常、月経障害についての講義を受講する
行動目標	家族計画について学習できる	家族計画の支援に必要な医学的知識や女性とパートナーの身体、精神と社会的機能状況のアセスメント、支援方法について理解できる
実践例	1. 家族計画の意義、指導の必要性、避妊法の種類について学習する 1) 外部研修(日本家族計画協会など)を受講する	1. 支援を受けながら、家族計画に関する指導案を作成する
行動目標	多様な性について学習できる	多様な性の支援に必要な知識や多様な性の身体、精神と社会的機能状況のアセスメント、支援方法について理解できる
実践例	1. 学研＝ラーニング「医療従事者が知っておきたいLGBTへの理解」を視聴し学習する 1. 富山県看護協会「ジェンダー(LGBT)への理解」を受講する	1. 富山県看護協会「ジェンダー(LGBT)への理解」を受講する